

## 用途など幅広く設定



運用に向けての最終チェックが行われた

廃石膏ボードのリサイクル率向上を目的とし、多くの企業や研究者からなる全国石膏ボードリサイクル協議会（太田敏則代表）の5回目となる会合が3月16日、国立環境研究所で行われた。今回は2月に行われた「第2回再生石膏粉の有効利用ガイドライン策定委員会」において受けたさまざまな指摘を踏まえ、ガイドラインの内

容における修正事項などのチェックや確認を行った。施工者や固化材メーカーなど、関係するさまざまな事業者にとって必要な項目の整理や、セメントの凝結遅延剤や中性固化材、ボードtoボードなどの用途に応じた検査の頻度や検査項目、試験フローなどについて、詳細にわたり読み合わせ、確認をした。

特に用途については、固化材・改質剤の地盤利用だけではなく、農業利用を含めた土壌改良資材、畜産用途、濁水対策（凝集剤）、除塩などや、海外の事例も含めて掲載する。これにより、可能な限り広い用途での使用を想定できるようにし、今後の利用用途について広がりを持たせた。同協議会はさらにどのような運用していくのかについて、4月中旬に意見交換会を行う。

今回の確認、さらに4月に行われる意見交換を経て、ガイドラインは「再生石膏粉の有効利用ガイドライン（試行版）」として、同協議会で運用を開始する。ただしあくまでも試行版であり、運用していく中で発生するさまざまな改良点などを

# ガイドライン試行版、運用へ

## 全国石膏ボードリサイクル協議会

集積・精査し、2018年度は作業部会、そして策定委員会での議論を行った上で改訂を行っていく。